

審査基準表

| 審査項目 | | 審査の視点 | 配点 |
|------|--------|--------------------------------------|----|
| 項目 1 | コンセプト | 事業の趣旨や目的等を十分に理解し、仕様書に沿った提案内容となっているか。 | 10 |
| 項目 2 | 企画・内容 | 文化への親しみや関心を高める提案になっているか。 | 40 |
| 項目 3 | 広報 | 効果的な広報展開ができる提案になっているか。 | 30 |
| 項目 4 | 業務実施体制 | 計画的な業務スケジュールが組まれているか。 | 10 |
| 項目 5 | 積算の妥当性 | 積算に無駄がなく、妥当であるか。 | 5 |
| 項目 6 | 業務実績 | 同種の業務を請け負った実績があるか。 | 5 |

審査方法

- (1) 審査員は各審査項目について、総合的に審査し、採点する。
- (2) 全ての審査員の点数を合計し、最高点数の業者に決定する。
- (3) 審査の結果、合計点数が同じ場合は、以下の優先順位に従って業者を決定する。
 - ① 最高点（タイを含む）の採点をした審査員数が多い。
 - ② 最高点（タイを含まない）の採点をした審査員数が多い。
 - ③ 審査員が協議の上、業者を決定。
- (4) 提案者が 1 者の場合、提案者の合計点が満点（100 点×審査員数）の 6 割に達したときは、最優秀提案者とする。